

これまでのヒアリング等における意見のまとめ(全体像)

1. 気候変動問題

(1) 気候変動に関する動向

- ①気候変動は社会安定の脅威
- ②2度目標と温室効果ガス実質ゼロ
- ③カーボンバジェットが存在

(2) パリ協定の意義

・195か国が同意、脱炭素、ゲームチェンジ、座礁資産

2. 世界の潮流

パリ協定を踏まえた世界の

(諸外国、金融、企業、再エネ等)

3. 経済・社会的課題

(1) 2050年における国内外の主要課題と今後の方向性

① 主要課題

・人口減少・高齢社会、経済の低成長、地方の課題、国際的課題等

② 今後の方向性

・付加価値生産性の向上、技術、ライフスタイル、社会構造のイノベーション、国際競争力、地域資源の活用

(2) 長期において考慮すべき社会的基盤要素

・ICTの進展、国民の価値観、国土空間

4. 基本的考え方

脱炭素への取組による経済・社会的諸課題の同時解決

ー経済社会的諸課題との「同時解決」、「今」から取り組む必要

- (1) 経済成長 (約束された市場、イノベーション、技術革新、デカップリング、国際競争力、飽和)
- (2) 地方創生 (地産地消エネルギー、まちづくり、人材等)
- (3) 国際貢献 (ライフスタイルの提案、資源自給等)

5. 長期大幅削減の絵姿

(1) 2050年80%削減を実現する社会

対策・施策の総動員、省エネ・エネルギー低炭素化・電化

(2) 様々な分野における大幅削減の社会像の例

①建物・暮らし、②移動、③産業・ビジネス活動、④エネルギー供給、⑤都市・地域

6. 長期大幅削減の実現に向けた政策の方向性

長期大幅削減実現に向けた主要な政策の方向性

- ・既存技術やノウハウの普及、イノベーションの誘発・普及、政策の在り方見直し
- ・カーボンプライシング、経済的手法、規制的手法、情報的手法、技術開発と普及、環境金融、土地利用、人材育成・市民参加、海外削減等

これまでのヒアリング等における意見のまとめ

1. 気候変動問題

(1) 気候変動に関する動向

- ① 気候変動は社会安定の脅威（生態系、安全保障、ビジネスリスク等）
- ② 2°C目標と温室効果ガス実質ゼロ（科学的知見、気候感度、生産ベース・消費ベース）
- ③ カーボンバジェットの存在

(2) パリ協定の意義

- ・ 195か国が同意、脱炭素、ゲームチェンジ、座礁資産

これまでのヒアリング等における意見のまとめ

2. パリ協定を踏まえた世界の潮流

パリ協定を踏まえた世界の潮流

- 各国の目標関係（GoalとTargetの違い）
- 諸外国
 - ー中国（低炭素発展、排出量取引）
 - ードイツ（長期戦略、再エネ普及、系統、火力、省エネ、市民参加等）
 - ーフランス（カーボンバジェット、排出量取引、炭素税、情報開示等）
 - ーその他（イギリスのカーボンバジェット、アメリカの個人・組織の行動変容に関する動向等）
- 金融（TCFD（気候関連の財務開示に関するタスクフォース）、PRI（責任投資原則等）等）
- 企業（RE100）
- 再エネ（投資、コストの動向）

これまでのヒアリング等における意見のまとめ

3. 経済・社会的課題

(1) 2050年における国内外の主要課題と今後の方向性

① 主要課題

- ・人口減少・高齢社会、経済の低成長、地方の課題、国際社会における課題

② 今後の方向性

- ・付加価値生産性の向上、技術、ライフスタイル、社会構造のイノベーション、国際競争力、地域資源の活用

(2) 長期において考慮すべき社会的基盤要素

- ・ICTの進展、国民の価値観、国土空間

これまでのヒアリング等における意見のまとめ

4. 基本的考え方

脱炭素への取組による経済・社会的諸課題の同時解決

- ・経済社会的諸課題との「同時解決」
- ・「今」から取り組む必要

- (1) 経済成長(約束された市場、イノベーション、デカップリング、国際競争力、飽和等)
- (2) 地方創生(地産地消エネルギー、まちづくり、人材 等)
- (3) 国際貢献(ライフスタイルの提案、資源自給 等)

これまでのヒアリング等における意見のまとめ

5. 長期大幅削減の絵姿

(1) 2050年80%削減を実現する社会

・対策・施策の総動員、省エネ・エネルギー低炭素化・電化

(2) 様々な分野における大幅削減の社会像の例

- ①建物・暮らし（100%削減、省エネ、再エネ需要対策、コベネフィット等）
- ②移動（排出ゼロ、所有から共有、EV、自動運転）
- ③産業・ビジネス活動（炭素制約下でのビジネス、産業構造）
- ④エネルギー供給（再エネ、系統、コスト、再エネ余剰電力、石炭等）
- ⑤都市・地域（コンパクト＋ネットワーク、面的なエネルギーマネジメント等）

これまでのヒアリング等における意見のまとめ

6. 長期大幅削減の実現に向けた政策の方向性

長期大幅削減実現に向けた主要な政策の方向性

- ・既存技術やノウハウの普及、イノベーションの誘発・普及、政策の在り方見直し
- ・経済的手法、規制的手法、情報的手法、技術開発と普及、環境金融、インフラ整備、土地利用、人材育成・市民参加、海外削減等

ご議論いただきたい点

1. 2050年及びそれ以降に向けた低炭素社会を考慮する上で、関連する経済・社会的課題としてどのような課題があるか。
2. 2050年及びそれ以降に向けて、我が国はどのような低炭素社会を目指していくべきか。
3. 目指すべき社会に向けて、我が国はどのような対策を講じていくべきか。